

令和3年度（2021年）

事業計画書

社会福祉法人 しこうしゃなごみかい 四幸舎和会

法人

はじめに

未だに収束の兆しが見られない新型コロナウイルスの予防と対策に特段の注意を払い、法人各事業所でクラスター発生がないよう危機管理を徹底します。

第Ⅲ期法人事業計画（令和3年度～令和12年度）が始動します。利用者の意思決定支援に基づいた事業運営を行い、事業目標の達成に向け進めていきます。

昨年度、法人事故検証委員会から示された提言を遵守するよう努めます。とりわけ家族が安心できるような関係づくりを各事業所で再構築していきます。

1 令和3年度 運営方針

(1) 役員の一部改選

昨年度、法人合併に伴い3名の新理事が選任され、残り5名（監事2名含む）は改選年度にあたります。6月の定時評議員会において選任された後、速やかに代表理事及び業務執行理事を選定し、法人運営に支障が出ないよう進めます。

(2) 事業収支の見直し等を図る

今年度、障害福祉サービス等報酬改定（改定率は+0.56%）が行われました。加算等の改定を見直して事業規模に見合った収入をしっかりと確保するとともに、福祉医療機構からの借入金の返済を含めた支出のチェックを厳格に行います。また、第Ⅲ期法人事業計画の実現に向け（中期）財務計画を立案していきます。

(3) 第Ⅲ期事業計画の推進

① 新規事業所の開設

かたやまの赤いやねは4月末の竣工を目指し、6月1日付でくりのみ園の従たる事業所として開所（定員15名）できるよう準備を進めます。11月までには定員20名の生活介護事業所として独立運営できるよう努めます。

特定相談支援事業所「そくだん赤いやね（仮称）」を、おおざとの赤いやね内に早期に開設し地域ニーズにこたえていけるよう励みます。

② 池田・豊中エリアの検証

親亡き後の支援（*グループホームの立ち上げ等）を早期に実現できるよう、市の関係課等と話し合う場を持ち、具体のロードマップを作成していきます。

(4) 人材確保・育成・定着を図る

法人研修委員会、学卒採用委員会を中心に進めていきます。また、中途採用についても良い人材の応募があれば適時採用していきます。

(5) 社会・地域貢献に積極的に取り組む

昨年度と同様、生活困窮者レスキュー事業並びに生活困窮者就労継続事業や地域のCSW(*コミュニティソーシャルワーカー)の活動等、積極的に励みます。

(6) リスクマネジメントを強化する

昨年度、法人事故検証委員会から提出された提言を各事業所で徹底します。

【提 言】

- ①リスクやリスクマネジメント対策に関する情報共有を徹底する
- ②過去の事件事例を忘れずリスクマネジメントの質を高める
- ③家族が安心できるよう関係を深める

2 法人設置の各種委員会について

昨年度と同様5つの法人委員会を設置します。

(1) 虐待防止委員会

障がいのある方の人権を守り、虐待を起こさない取組みや虐待が起こった際の対応や発生しない取組みなどを法人として総括し、各事業にフィードバックしていきます。(年4回の開催)

(2) 事故防止委員会

事故のない安心・安全な暮らしを提供するため、各事業所のヒヤリハット(*ヒヤリハット⇒支援する中で事故には至らないがヒヤットしたことなど)や事故の検証を行い、フィードバックを行っていきます。(年4回の開催)

(3) 非常時対策委員会

地震などの非常災害時に、法人の各事業が継続されるための取組みを総括します。BCP(*事業継続計画)の作成、非常時物品の確保、緊急招集訓練などを行います。年4回開催予定。

(4) 法人研修委員会

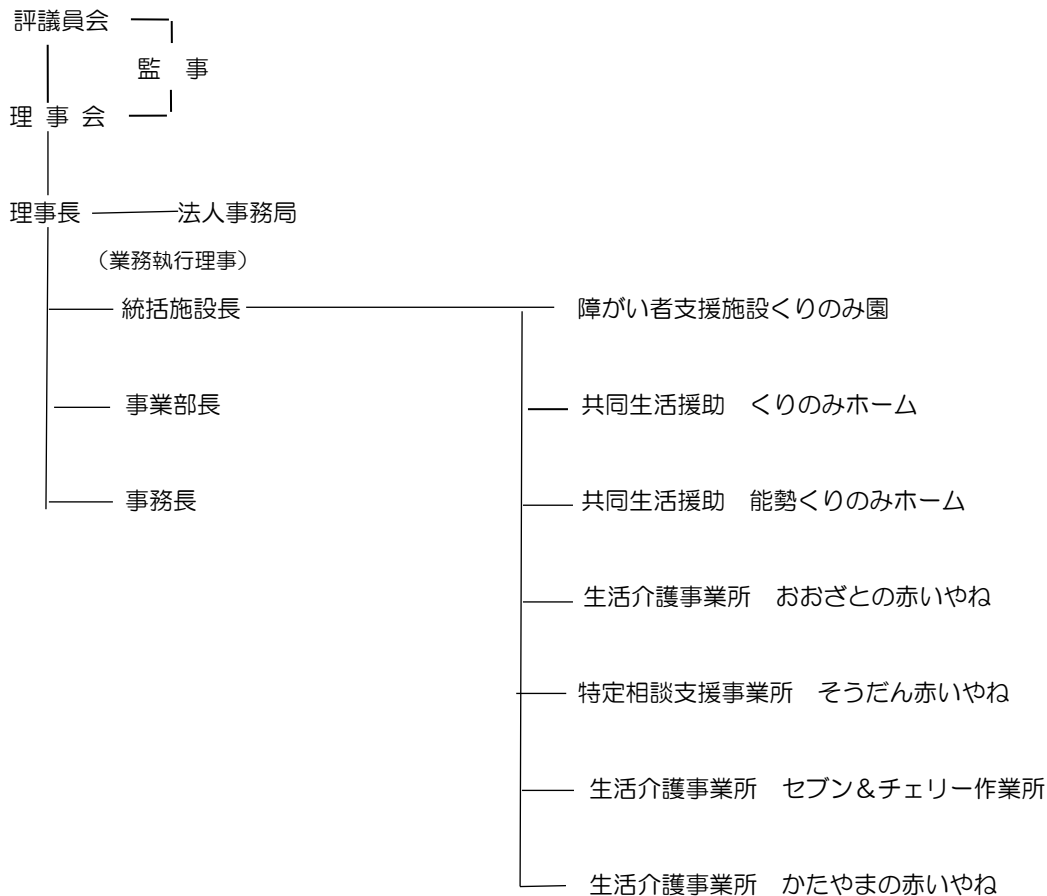
利用者支援、法人で働く職員の専門性の向上や人材育成について検討するとともに、法人研修の企画・実施を担います。(月1回の開催)

(5) 学卒採用委員会

人材確保を総括し、就職フェアの企画・実施、採用までの学生フォローアップなどに取組みます。例年、2月から6月まではフェアから採用面接の期間として位置付け、7月から11月はインターンシップ対応、内定者フォローの期間として活動します。12月から翌年2月は次年度採用(2023年採用)というサイクルで活動します。

3 令和3年度 法人組織

令和3年度中に立ち上げ予定の事業所を含めた組織体制は、次のとおりです。



(職員数)	
正規職員	42名
嘱託職員	4名
アシスタント職員	14名
パート職員	27名
<u>計</u>	<u>87名</u>

(職種別等)	
法人事務局	3名
事務員	2名
生活支援員	57名
看護師	4名
栄養士	1名
GH世話人	16名
<u>生活支援員補助</u>	<u>4名</u>
<u>計</u>	<u>87名</u>